

# 第7章 農林水産業費

# 第7章 農林水産業費

## 第1節 農業費

### 1 農業委員会費

#### (1) 委員の状況

ア 農業委員及び農地利用最適化推進委員

(単位：人)

名 称	総 数	内			訳	
		認定農業者	中 立 委 員	そ の 他	総数のうち 50歳未満	総数のうち 女 性
農業委員	19	10	1	8	1	3

名 称	総 数	地 区 数
農地利用最適化推進委員	13	13

#### イ 会議開催状況

会 議 別	延べ人員	回 数	日 数	審議件数
総 会	341人	13回	13日	206件
農地利用最適化推進会議	340人	13回	13日	

#### ウ 農地管理

##### (ア) 農地法関係事務処理状況

名 称	件数 (件)	面積 (ha)	
農地法第3条	届出 許可不要の農地の所有権移転及び権利の設定	38	12.61
	許可 農地の所有権移転及び権利の設定	77	11.46
農地法第4条	届出 市 街 化 区 域	34	1.73
	許可 市 街 化 調 整 区 域	16	1.25
農地法第5条	届出 市 街 化 区 域	159	9.26
	許可 市 街 化 調 整 区 域	39	4.98
農地法第18条	賃 貸 借 の 解 約	17	9.14
非農地証明	農地以外の用途で10年を経過	41	4.19
事業計画変更申請及び届出		8	0.44
転用事実の証明		8	1.04
耕作証明		34	—
諸証明(許可済み証明・提出中の証明)		80	—

##### (イ) 用途別農地転用状況

住 宅		工 場		植 林		そ の 他		合 計	
件数 (件)	面積 (ha)	件数 (件)	面積 (ha)	件数 (件)	面積 (ha)	件数 (件)	面積 (ha)	件数 (件)	面積 (ha)
112	3.87	5	0.88	13	2.31	159	14.34	289	21.40

エ 贈与税・相続税納税猶予制度の状況

区 分	件 数 (件)	筆 数 (筆)	面 積 (㎡)
贈与税納税猶予	0	0	0
相続税納税猶予	0	0	0

(2) 農業者年金業務受託事業

農業者年金は、昭和45年に創設され、現在の受給者数は167人です。

平成14年1月から、将来の年金給付に必要な原資をあらかじめ自ら積み立てていく方式となり、その時々  
の加入者数等には左右されにくい長期の安定したものとなりました。現在の加入者数は48人です。

(単位：人)

加 入 者			旧 制 度 受 給 者					新 制 度 受 給 者		
政策支援 加入	通常加入	計	老齢年金と 経営移譲 年金併給	老齢年金 のみ	経営移譲 年金のみ	特例老齢 年金	旧制度 計	老齢年金 のみ	老齢年金と 特例付加 年金併給	新制度 計
6	42	48	24	62	27	2	115	45	7	52

※ 新・旧両制度に加入している者を含むため、現在の受給者数とは一致しない。

## 2 農業総務費

(1) 県営土地改良事業負担金

事 業 名 ( 地 区 名 )	事業費 (円)	市負担金 (円)	事 業 概 要
集落基盤整備事業 (朝霧高原地区)	127,300,000	31,825,000	集落道 L = 166m 営農飲雑用水 管水路 L = 1,665m 測量設計 一式
水利施設整備事業 (安居山頭首工)	90,000,000	22,500,000	頭首工改修 一式
水利施設整備事業 (三区用水)	14,400,000	3,600,000	測量設計 一式
農地整備事業 (杉田地区)	4,850,000	2,425,000	基本設計 一式
合 計	236,550,000	60,350,000	

(2) 水環境物質等調査業務

令和3年8月に上長貫町内会より調査の要望書が提出されました。農業の要となる用水と土に関する問題であることから、水環境物質等の調査を実施しました。

委 託

名 称	測定項目	金額 (円)	委託先	契約方法
上長貫地区用水路における 水環境物質等調査業務	アクリルアミド (水質・底質)	156,200	立華(株)	随意契約

(3) 市単独事業費補助金

団 体 名	事業費 (円)	補助金 (円)	県営土地改良事業名(地区名)	事 業 概 要
外神畑総土地改良区	12,987,348	12,987,348	畑地帯総合整備事業(外神)	土地改良財産管理等

### 3 農業振興費

#### (1) 食のまちづくり推進事業

郷土の豊富な食材をPRし、地産地消による安全安心な食生活を推進するとともに、「食を通じた市民の健康と幸せづくり」を実現するため、食育の推進、地域の食材に関する調査・研究並びに商品開発、交流都市、大学との連携活動を行いました。また、市制施行80周年にあわせて、フードバレーサミットを開催し、連携強化と産業振興を図りました。

委 託

名 称	概 要	金額 (円)	委 託 先	契約方法
フードバレー構想推進事業	食の講演会の開催、食育、都市交流、冊子の発行、フードバレーサミットの開催等	6,746,348	富士宮市フードバレー推進協議会	随意契約

#### (2) 担い手育成総合支援事業

次世代を担う農業者の育成・確保に向けた取組として、令和3年度までの採択者に対しては農業次世代人材投資資金、令和4年度採択者に対しては、経営開始資金を交付しました。なお、令和4年度からは新たな補助メニューとして経営発展支援事業が追加されました。

##### ア 農業次世代人材投資資金

経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対し、資金を交付しました。

前期 (9月支給)		後期 (3月支給)		交付金額合計 (円)
交付人数 (人)	交付金額 (円)	交付人数 (人)	交付金額 (円)	
5	4,500,000	4	3,000,000	9,062,479
交付人数 (組)	交付金額 (円)	交付人数 (組)	交付金額 (円)	
1	781,240	1	781,239	

##### イ 新規就農者育成総合対策事業 (経営開始資金)

経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対し、資金を交付しました。

前期 (9月支給)		後期 (3月支給)		交付金額合計 (円)
交付人数 (人)	交付金額 (円)	交付人数 (人)	交付金額 (円)	
0	0	1	1,500,000	3,750,000
交付人数 (組)	交付金額 (円)	交付人数 (組)	交付金額 (円)	
0	0	1	2,250,000	

##### ウ 新規就農者育成総合対策事業 (経営発展支援事業)

就農後の経営発展のために、機械・施設等の導入を支援しました。

交 付 人 数 ( 人 )	交 付 金 額 ( 円 )
1	2,446,900

#### (3) 農地利用集積の推進

規模拡大志向農家に農地を集積し、経営の安定的発展を図るために利用権等の設定を推進しました。

区 分	件 数 ( 件 )	面 積 (ha)
利 用 権 設 定	140	63.94
所 有 権 移 転	8	22.16

(4) 各種団体会費等負担金

農業祭運営委員会に対し 80 万円を助成しました。同委員会においては、例年、市内で生産された農作物等の品質と魅力を市民に紹介し、農業への理解をより深めていただくために各種イベント等を開催しています。令和 4 年度については、令和 4 年 9 月 14 日に落花生の品評会、11 月 18 日に農畜産物の品評会を実施しました。11 月 19、20 日は市制施行 80 周年記念として農業祭と産業フェアを同時開催し、11 月 19 日には品評会好成績者に対し表彰式を執り行いました。

(5) 市単独事業費補助金

ア 茶園転換支援事業費補助金

茶から他の作物へ転換を図るための農地整備等を実施する農家に補助しました。

事業内容	件数 (件)	転換面積 (a)	交付金額 (円)
茶園転換支援事業	2	35	476,000

イ 農業近代化資金利子補給補助金

農業経営の規模拡大と近代化を図るために、市が利子補給を行い、低利な資金を融資するもので、利用状況は次のとおりです。

資金名	件数 (件)	利子補給対象額 (円)	利子補給額 (円)
農業近代化資金	13	57,091,000	73,540

ウ 漁業近代化資金利子補給補助金

養鱒業の経営の安定及び近代化並びに生産性の向上を図るために、市が利子補給を行い、低利な資金を融資するもので、利用状況は次のとおりです。

資金名	件数 (件)	利子補給対象額 (円)	利子補給額 (円)
漁業近代化資金	2	24,000,000	20,973

エ 富士宮市農業振興推進協議会補助金

富士宮市農業振興推進協議会に対し 108万1,095円を助成しました。同協議会では、耕種、茶、畜産振興の各部会及び地域の農業者が協調しつつ、独自の発想を持って農業活性化に取り組みました。

(6) 国・県支出金を伴う事業費補助金

ア 多面的機能支払交付金

多面的機能支払交付金実施要綱に基づき、市から農村環境の保全等の事業計画の認定を受けた組織に対し、市が国、県及び市の交付金を一括して交付し、活動を支援しました。交付金の負担割合は、国 1/2・県 1/4・市 1/4 となっています。

地区	活動団体名	協定面積 (ha)	交付金額 (円)	市負担分 (円)
原	いいな故里は、守ろう原睦み会	32.66	1,600,708	400,177
大鹿窪	縄文の里「おおしか幸区」	17.59	827,980	206,995
半野・佐折	天子ヶ岳の郷保存の会	40.81	1,897,304	474,326
下条	南条の里農地保全会	56.50	2,478,080	619,520
計		147.56	6,804,072	1,701,018

#### イ 中山間地域等直接支払交付金

中山間地域等直接支払交付金実施要領に基づき、生産条件が不利な中山間地域等の一団の農用地において、農村環境の保全や農業生産活動の向上等の事業計画の認定を市から受けた組織に対し、市が国、県及び市の交付金を一括して交付し、活動を支援しました。交付金の負担割合は、県特認地域のため、国 1/3・県 1/3・市 1/3 となっています。

集 落 名	協 定 面 積 (ha)	交 付 金 額 (円)	市負担分 (円)
上 羽 鮎	3.1193	655,053	218,351
平 成 棚 田 の 会	5.4238	1,138,998	379,666

#### ウ 農業経営基盤強化資金利子補給補助金

認定農業者の農業経営の規模拡大や施設整備を図るために、県及び市が利子助成を行い、長期かつ低利な資金を融資するもので、利用状況は次のとおりです。

資 金 名	件 数 (件)	利子助成対象額 (円)	利 子 助 成 額 (円)
農業経営基盤強化資金	17	456,101,623	1,342,740

#### エ 荒廃農地再生・集積促進事業費補助金

荒廃農地再生・集積促進事業費補助金交付要綱に基づき、農地法上、再生可能な荒廃農地と判断された農用地について、中間管理事業等を通じて担い手に集積された場合に、草木の除去や整地、土壌改良等に係る再生工事について、1事業につき総事業費が200万円未満で、最大で県 1/2・市 1/2 の補助率で農業者に事業費の補助をしました。

事 業 内 容	件 数 (件)	実 施 面 積 (a)	交 付 金 額 (円)	市負担分 (円)
荒 廃 農 地 再 生 ・ 集 積 促 進 事 業	5	105.31	6,253,066	3,126,533

## 4 畜産振興費

### (1) 各種団体会費等負担金

#### ア 富土地域畜産まつり負担金

悪天候によりまつりが中止となり、代替事業として堆肥の無料配布と、産業フェア内で畜産ブースを設置し、バター作り体験や酪農のPR資料の展示・配布を行いました。

なお、負担金の内訳は、富士宮市 63 万円、富士市 10 万円でした。

#### イ 富士宮市畜産振興推進協議会負担金

富士宮市、農業関係団体及び関係機関が連携し、家畜の飼養形態に即応した衛生体制の確立、飼育環境の整備、疾病傷害の防止、飼養管理技術の向上等を図り生産性を高め、もって畜産の健全な発展に資することを目的とする協議会の運営のため、20 万円を負担しました。

### (2) 市単独事業費補助金

#### ア 優良後継牛人工授精事業補助金

市内の牛の資質向上及び低コストの乳・肉生産を図るため、優秀な種雄牛の精液を人工授精し、優良子牛を生産する事業を行う農家に対し 70 万円を助成しました。

#### イ 畜産堆肥利用促進補助金

畜産堆肥の利用を促進するため、27戸に192万1,000円の補助金を交付し、1,146トンの堆肥の利用が促進されました。

#### ウ 死亡獣畜処理輸送事業補助金

死亡獣畜の適正な処理を推進するため、指定された施設に農家が処理を依頼する際の輸送費を助成しました。この助成総額は263万6,400円でした。

#### エ スズメバチ駆除助成金

スズメバチによる危害を防止し、安全な市民生活を確保するため、駆除業者に支払う費用の一部を助成しました。この助成総額は84万8,700円でした。

#### オ 粗飼料価格高騰対策事業費補助金

燃料価格の高騰や国際物流の混乱等により、畜産飼料の粗飼料（稲わら、牧草など）の価格が高騰し、市内の畜産農家の経営を圧迫していたので、畜産農家の事業継続や経営安定を図り、乳製品の品質を保持するため粗飼料価格の高騰分に対する一部を補助しました。

乳牛生産農家 60戸 1,790万9,000円

肉牛生産農家 14戸 316万8,000円

### (3) 市単独運営費補助金

#### 富士宮市畜産振興推進協議会補助金

県及び家畜保健衛生所の指導により、獣医師会、農業共済組合、市内2農協、畜産団体及び畜産農家を中心とした自衛防疫組織の強化育成を図り、家畜衛生の万全に努めました。この助成費は2,418万299円でした。

また、牛病・豚病の各種予防注射を実施するとともに、鶏病予防のためのワクチン接種の啓発を行い、家畜伝染病の発生防止を図りました。

### (4) 国・県支出金を伴う事業費補助金

#### 畜産競争力強化対策整備事業

堆肥化処理施設を整備し、高品質化した堆肥をペレット化して流通の促進を図りました。

事業内容	交付件数(件)	計画総事業費(円)	交付金額(円)
施設整備事業(堆肥舎)	1	105,545,000	47,975,000

## 5 かんがい排水事業費

### (1) 用排水路等維持改良事業

#### 工 事

名 称	工 種 ・ 概 要	金額(円)	受注者	契約方法
電源立地地域対策交付金事業精進川字下中島地内用排水路改修工事	施工延長 L=230m 水路工 L=230m 付帯工 一式	6,501,000	(有)大石	公募型 指名競争入札

## 成果等

老朽化により機能低下した農業用水路等を 230m 改修したことにより、農業用水の供給の安定化が図られました。

### (2) 用排水路等維持改良事業（繰越明許分）

令和 3 年度に実施した次の事業を、令和 4 年度に繰り越して実施しました。

委 託

名 称	概 要	金額 (円)	委 託 先	契約方法
馬見塚用水における利水実態調査業務	路線測量 L=0.74km 用地調査 A=3ha 利水実態調査 一式	8,734,000	静岡県土地改良事業団体連合会	随 意 契 約

### (3) 用排水路等維持改良事業（次年度繰越事業）

用排水路等維持改良事業について、令和 4 年度分を次のとおり繰り越して継続します。

工 事

名 称	工 種 ・ 概 要	金額 (円)	受 注 者	契約方法
猪之頭字人穴道地内人穴用水路改修工事	施工延長 L=223m 水路工 L=223m 付帯工 一式	13,002,000	無双建設(株)	公 募 型 指名競争入札

### (4) 西富士用水移設費負担金

名 称	事業費 (円)	市負担金 (円)	事 業 概 要
西富士用水移設負担金	24,938,612	6,142,030	砂防事業に伴う西富士用水水道管の移設負担金

## 6 大倉川防災ダム管理費

事 業 名	事業費 (円)	市負担金 (円)	事 業 概 要
大倉川農地防災ダム管理事業	40,500,000	20,250,000	施設保守管理委託、維持管理業務等

## 7 県単土地改良事業費

県単補助用排水路改修事業

委 託

名 称	概 要	金額 (円)	委 託 先	契約方法
下柚野字東原地内農業用水路測量設計業務	測量業務 L=0.22km 設計業務 L= 220m	5,885,000	(株) 大 栄 コンサルタント	公募型指名 競争入札

## 第2節 林 業 費

### 1 林業総務費

施設維持管理費

指定管理者による管理

名 称	概 要	金 額 ( 円 )	指 定 管 理 者
天子の森管理業務	管理運営	2,750,000	天子の森運営協議会



成果等

キャンプ 4,278 人、バーベキュー 767 人の利用がありました。

## 2 林業振興費

### (1) 鳥獣害防止対策事業

#### ア 有害鳥獣被害防止設備設置事業費補助金

野生鳥獣からの農林水産物への被害を低減するため、市内の鳥獣被害対策を実施する農林水産業等を営む方を対象に、資機材の購入に係る経費を助成しました。この総数は、64 件で、助成額 223 万 7,000 円でした。

#### イ 富士宮市鳥獣被害対策実施隊

平成 26 年 4 月 1 日に富士宮市鳥獣被害対策実施隊（10 人）を設置し、令和 4 年度は有害鳥獣のニホンジカ 344 頭、イノシシ 61 頭を捕獲し、農林業の被害の防止及び軽減に努めました。

### (2) 森林環境整備事業

#### ア 委託

名 称	概 要	金額 (円)	委 託 先	契約方法
富士宮市有林周辺 民有林調査業務	・現地調査・関係資料収集 ・説明会の開催 ・アンケート調査 一式	11,660,000	富士森林組合	指名競争入札

#### イ 工事

名 称	工 種 ・ 概 要	金額 (円)	受 注 者	契約方法
林道瓜島線改良工事	工事延長 L=242m 舗装工 A=968㎡ 林道土工 一式	10,131,000	芝川建設工業(株)	公募型指名競争入札

## 3 林道事業費

### (1) 県営林道事業負担金

#### 委託

名 称	工 種 ・ 概 要	金額 (円)	委 託 先	契約方法
林道入山線基本設計業務	測量業務 一式 設計業務 一式	7,150,000	東海技術開発株式会社	指名競争入札

### (2) 林道維持補修事業

#### 工事

名 称	工 種 ・ 概 要	金額 (円)	受 注 者	契約方法
鳥並地区横断水路工事	工事延長 L=37m 林道土工 一式 舗装工 30㎡ 排水施設工 30m 擁壁工 一式 付帯施設工 一式 構造物撤去工 一式 道路付帯施設工 一式 安全工 一式	18,579,000	芝川建設工業(株)	公募型指名競争入札